

令和2年4月13日

総長選考会議

望まれる総長像

～国立大学法人北海道大学の総長選考基準～

北海道大学は、1876年に開学した札幌農学校に遡る長い歴史の中で「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念を掲げ、これまで培ってきた。

この北海道大学を揺るぎなく支えてきた誇りある基本理念とそれに基づく長期目標を実現すべく、北海道大学総長には以下のような資質、能力を備えていることが望まれる。

1. 人格が高潔で学識が優れ、学内外の敬意と信頼を得ることができ、かつ、基幹総合大学としての教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる者であること。
2. 基本理念と長期目標のためのビジョンを示し、構成員の幅広い支持を受け総合的な合意を形成するとともに、それを学内外に浸透させるためのコミュニケーション能力と実行に向けた強いリーダーシップを有する者であること。
3. 世界最高水準の学術研究・人材育成を推進するため、国際的な視野と発信力を持って大学運営を行い、世界の中の北海道大学として存在感を高めることができる者であること。
4. 全教職員、同窓生および社会から広く英知を結集し、安定的な財政基盤の確立と適切な資源配分を実現できる総合的マネジメント能力を有する者であること。
5. 地域および国際社会との連携を深め、教育研究の成果を社会に還元するよう積極的に取り組むことを通じて、人類と社会の発展に貢献することができる者であること。
6. 高い志と優れた能力を有する教職員を登用するとともに学外の優れた人材の招聘を行い、全教職員が意欲と能力を最大限に発揮できる組織風土を醸成し、本学を持続的に発展させることができる者であること。